



かわち



迎春 2010



本年も相変りませず
よろしくお願ひ致します

(かわちこども園の子どもたち)

平成22年 元旦

河内町議会議員一同
河内町役場職員一同

'09年広報かわちバックナンバー

☆ 2009年の広報かわちを再現してみました。☆



編集・発行 河内町役場総務課
〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/>
モバイル版アドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/mobile/index.html>

河内町モバイルホームページ
QRコード
※QRコードは読みとれない場合もあ
りますのでご了承ください。





河内町議会議長
福智正之

小さくても"きらり"と光る 大きなまちづくりをめざして



河内町長
野高貴雄

新年明けましておめでとうございます。輝かしい2010年の新春をご家族お揃いでお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年5月の町長選挙で、無投票当選で五期目を迎えることができたことは光栄であります。8月には茨城県知事選挙があり、現職知事が生活大県を訴え大差で五選を果たされました。そして、政権選択を争点に行われた衆議院総選挙は、激しい選挙戦が繰り広げられ、民主党の圧勝に終わり、歴史的な政権交代が行われました。大きな節目を迎えた中、社会情勢を見ますと、世界的な経済金融危機の影響を受け、国内でも企業の倒産や非正規労働者の派遣切りが生ずるなど、景気後退がもたら

す。新年明けましておめでとうございます。平成22年の年頭にあたり、町議会を代表いたしまして、年頭のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、百年に一度の経済危機の影響により、日本の経済成長率はマイナスが続ぎ、極めて厳しい雇用環境が一層悪化し、円高基調による企業収益は大幅な減少に加え、物価は緩やかなデフレ状況など、深刻な課題が山積されました。また一方では、長い間自民党が担ってきた政権は、8月に行われた衆議院選挙により野党が圧勝し、民主

らす国民生活への不安が、大きな社会問題となっております。

河内町の基幹産業であります農業、特に稲作につきましては、燃料代や肥料代の値上げが続く中、生産者米価は依然厳しい状況であります。第3セクター（株）ふるさとかわちでは、「おかげのいらぬかわちのお米」に加えて、茨城県産地品種銘柄米「とねのめぐみ」も知名度を上げ、売り上げも順調に伸びております。今後も農家の経営安定、支援のため販路拡大など全面的にバックアップして、地域ぐるみで骨太な農業を目指してまいります。

日本は今、急激な勢いで少子高齢化が進んでいます。本町では子育て支援対策の一環として、次代を担う子供達の健全な育成と子育て家庭を支援していくため、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」を2施設開園いたしました。そして、幼稚園等の跡地利用として若い人に住んでもらうため町営住宅の建設推進等も考えてまいります。

小中学校の統合につきましては、何よりも児童生徒の立場に立ちまして、その教育環境の整備、充実を図っていくことが大切です。これからも、児童生徒数の推移等を踏まえながら早期実現を目指し、保護者、地域住民の皆様のご理解とご協力を得られるよう統合の推進を図ってまいります。

党を中心とした政権交代が行われ、新しい政治、行政システムの大転換を現実にし、地域主権の確立がされることを期待した年でした。

国際問題では、中東情勢は、アメリカでは3万人の兵士をアフガニスタンに増派することを発表し、同盟諸国にも兵士を追加するよう要請し終結のめどが立たない情勢です。わが国においても、自衛隊のインド洋へ補給艦護衛艦の派遣打ち切りを決めたものの、代替え支援として金銭による無償資金で援助するような対策で、今後の状況が危惧される所でありま。また、北朝鮮による日本人拉致問題においても、解決に至っておらず、さらに中距離弾道ミサイルの発射実験、核開発など今後も問題解決のため、よりよい対策を行っていただきたいと思。一方、四年に一度行われるWBCワールド・ベースボール・クラシックでは、世界の強豪を相手に熱戦を繰り広げ、日本代表選手が大活躍をし、連覇を達成しました。また、ゴルフでは最年少18歳の賞金王が誕生し、日本一の少年に歓声が沸くという明るい話題もありました。

河内町では、少子高齢化が年々進行し、65歳以上の人が3割を超える現状で、若者の定住を図る必要があります。また、景気の面では、米の作況指数はやや不良となったものの米あまりは解消せずに、米価は昨年同様に低迷する

した生活を送ってもらい、健康増進を図り、医療費抑制にもつなげようとして「かわち寿大学」を創設いたしました。現在、約400名の学生が誕生いたしました。学生には写真入の学生証を発行し、特典として、コミュニティバス、町内協力店及び町施設利用の学割を受けられます。学校は西共同利用施設に置き、お風呂も使えるようにして、皆さんが楽しく集って、勉強に運動に励んでもらいたいと思。また、若草大橋の利便性を図るため、そのアクセス道路となる県道取手・東線の生板バイパスの整備につきましては、年度内には用地買収が50%完了する見込みであります。圏央道につきましては、平成24年度には東関道まで開通が見込まれており、常総大橋から直接に稲敷市内のインターチェンジまでのアクセス道路の整備など、今後道路網の整備が進展することにより、さらなる町の活性化に結びつくことと思。これからの、限られた財源の中でより良い住民サービスを提供するため、第三次の行政改革を推進しながら、町民の皆様の積極的なご意見を反映しながら「小さくても、きらり」と光る大きなまちづくりを目指し、全力で取り組んでいく所存でございます。

どうか皆様方のご協力をお願い申し上げますとともに、本年がより良い年でありますようご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

という状況で今後の農家の存続も危ぶまれる所でありま。また、不審な火災の発生が頻繁に起こり、防災対策を強力に進めなければならない状況であります。

このような中、将来の河内町が「若者が定住したい協働の町」になることを目指し、学校耐震化など多様化する住民のニーズに応えるため、より一層の対策を講じなければなりません。そのためには、今年から始まる第三次行政改革の推進を進め、基幹産業の農業が「活性化」して、潤いのある社会を目指していくことが重要課題と考えます。我々議会一同このような状況を乗り越え、皆様と問題意識を共有し課題解決に全力を傾け、町発展のため、町民の代表として、将来の町づくりに誠意努力する所存であります。

今年一年の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も議会に対して相変わらずご支援とご協力をお願い申し上げます。謹んで新年のごあいさついたします。

